

中小病院の機能確立へ

在支病連絡協議会 設立

地域密着型中小病院における在宅療養支援病院の機能を確立することを目的に、6月22日、一般社団法人日本在宅療養支援病院連絡協議会(茨城県常陸大宮市)が設立。会長には医療法人博仁会理事長の鈴木邦彦氏が就任した。

同協会は6月23日より、在宅療養支援病院(以下・在支病)や在支病の届出を予定する病院を対象に、正会員・賛助会員を募集。現在、約100病院が加盟している。会長には鈴木氏が就任、監事に一般社団法人日本病院会会長の相澤孝夫氏および公益社団法人全日本病院協会会長の猪口雄二氏が就任した。

同協会設立の経緯には、2013年8月公表の社会保障・税一体改革の道筋を示した社

会長に博仁会 鈴木氏

■在宅療養支援病院・在宅療養支援診療所の施設基準(22年度診療報酬改定)

在支診・在支病の施設基準(参考)

	機能強化型在支診・在支病		在支病	(参考)在宅療養後方支援病院
	単独型	連携型		
	診療所	病院	診療所	病院
全ての在支診・在支病の基準	① 24時間連絡を受け体制の確保 ② 24時間の訪問看護体制 ③ 24時間の入院体制 ④ 緊急時の入居体制 ⑤ 年に1回、看取り等を報告していること		① 24時間の往診体制 ② 緊急時の入院体制 ③ 年に1回、看取り等を報告していること	
全ての在支病の基準	「在宅療養支援病院」の施設基準は、上記に加え、以下の条件を満たすこと。 (1) 許可病床200床未満であること又は当該病院を中心とした半径4km以内に診療所が存在しないこと (2) 往診を担当する医師は、当該病院の専任医師と指定すること ※ 医師数等の少ない地域に所在する保険医療機関にあっては280床未満			
機能強化型在支診・在支病の基準	① 在宅療養を担当する常勤医師3人以上 ② 次のうちいずれか1つ ・過去1年間の緊急往診の実績10件以上 ・在宅療養支援診療所からの要請により患者の受入を行う体制を構築していること ・在宅療養支援診療所からの要請により患者の緊急受入を行った実績が過去1年間で31件以上 ・地域包括ケア連携入院・入院患者管理1又は3室確保していること		① 在宅療養を担当する常勤医師連携内で3人以上 ② 次のうちいずれか1つ ・過去1年間の緊急往診の実績10件以上 ・在宅療養支援診療所からの要請により患者の受入を行う体制を構築していること ・在宅療養支援診療所からの要請により患者の緊急受入を行った実績が過去1年間で31件以上 ・地域包括ケア連携入院・入院患者管理1又は3室確保していること	○ 許可病床200床以上 ○ 在宅療養を提供する医師確保と連携し、24時間連絡を受け体制を確保すること ○ 連携医療機関とのために応じて入院希望患者の診療が24時間可能な体制を確保(病床の確保を含む) ※ やむを得ず当該病院に入院させることができなかった場合は、対応可能な病院を紹介すること ○ 連携医療機関との間で、3月に1回以上、患部の診療情報と交換を行い、入院希望患者の一覧表を作成
	③ 過去1年間の緊急往診の実績10件以上 ④ 過去1年間の看取りの実績又は超・準超重症児の医学管理の実績いずれか4件以上		③ 過去1年間の緊急往診の実績連携内で10件以上 ④ 過去1年間の看取りの実績又は超・準超重症児の医学管理の実績いずれか2件以上	

(厚労省資料より抜粋)

厚労省 ICT見学「業界の標準に」



アズパートナーズ(東京都千代田区)が5月に開設した介護付きホーム「アズハイム三鷹」(93室)では7月12日、同社の業務支援システム「EGAO link」について厚生労働省より6名が見学に訪れた。

当日、厚労省介護保険課より日野力課長ら4名、老人保健課より長嶺由衣子課長補佐ら2名が訪問。実際にシステムやアプリケーションをスマートフォンで体験しつつ説明がなされた。

EGAO linkは、同社がパラマウントベッドなど4社と共同開発した、スマートフォンで記録・コール・見守り・コミュニケーション・動画共有の全てに対応できるデジタルツール。最近では、トランシーバーを伴ったインカムからBluetooth型イヤホンを用いたグループトークアプリ「BONX

アズ新ホームで意見交換

「EGAO link」は高齢のスタッフが辞めてしまうケースもあると聞け、どのようになり越えたか、「事故の減少や要介護度改善などの効果について

「EGAO link」が、ケアの質向上にも働きやすさにも繋がっている。「そこに惹かれ、多くの新卒スタッフが入社してきている。よくだ」などの声も聞かれた。

鈴木会長は「本協会設立の目的は、在宅療養支援病院の病院機能を確立すること。地域包括ケアを支えるために必要不可欠である」と言及する。

「LIFE対応は」など数多くの質問が投げられた。

高齢期の住まいアンケート実施

公益社団法人全国有料老人ホーム協会(東京都中央区)は1日より、満60歳以上の人を対象とした「高齢期の住まいに関するアンケート」を実施する。受付は31日まで。

同調査により、高齢者の今後の住まい方や住み替えへの意向などを把握する。回答は同協会HPを参照。

「患者様・ご利用者の満足」と「職員の笑顔」のために・・・

Medicare Solution Core & Spiral

私たちが大塚商会のメディケアプロジェクトは、患者様・ご利用者に寄り添う職員のみなさんが提供する医療・介護サービスとその取り組みの本質をみつめ、ITソリューションを提供しつづけてきました。最新技術の活用を通して医療・介護のかたち「Medicare」の質を高め、職員のみなさんの取り組みの核「Core」を強固なものにし、今日より明日が成長した姿でいられるための「Spiral」を生み出す「Medicare Solution Core & Spiral」を提供することが私たちのポリシーです。

介護業界のDX(デジタルトランスフォーメーション)とは? 介護事業のデジタルトランスフォーメーションの目的は「職員一人当たりの生産性向上と働く環境の改善」です。システム導入のキーワードは「部分最適」をやめ「全体最適」の視点をもつことといえます。

株式会社大塚商会 本部SI統括部メディケアSP(林・佐藤)
〒102-8573 東京都千代田区飯田橋2-18-4
Tel: 03-3514-7850 FAX: 03-3514-7867 E-Mail: iryosp@otsuka-shokai.co.jp

株式会社大塚商会
https://www.otsuka-shokai.co.jp/erpnavi/category/medical/sp/